

大阪急性期・総合医療センター 第1版

肝胆膵領域悪性腫瘍術後のエノキサパリン投与による止血凝固系検査結果への影響に関するに関する研究

1. 研究の対象

2015年4月から2021年5月に「肝胆膵領域悪性腫瘍に対する術後静脈血栓塞栓症予防に対するエノキサパリン投与の第Ⅱ相ランダム化比較試験」に参加された方

2. 研究目的・方法

肝胆膵悪性腫瘍術後患者における術後エノキサパリン投与による止血凝固系検査結果への影響を明らかにすることを目的とします。対象患者の止血凝固系検査結果を収集し、エノキサパリン投与との関連を後方視的に解析します。

研究期間：研究機関の長の許可日-2026年7月19日

利用又は提供を開始する予定日：2024年12月末

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：血液検査結果、治療経過、副作用等の発生状況等

4. 外部への試料・情報の提供

各施設の情報は、研究対象者のデータから氏名等の特定の個人を識別することができることとなる記述等を削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて加工します。研究対象者とこの符号（番号）を結びつける表を各研究機関で作成し、個人情報管理者は外部に漏れないように厳重に保管します。共同研究機関での情報の受渡しは、特定の個人を識別することができない状態で取り扱います。

5. 研究組織（利用する者の範囲）

大阪大学医学部附属病院 消化器外科 江口 英利

関西労災病院 外科 武田 裕

JCHO 大阪病院 消化器外科 森本 修邦

大阪急性期・総合医療センター 消化器外科 友國 晃

市立豊中病院 外科 清水 潤三

大阪警察病院 消化器外科 浅岡 忠史

りんくう総合医療センター 消化器外科 種村 匡弘

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

大阪急性期・総合医療センター 第1版

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪急性期・総合医療センター 消化器外科

〒558-855 大阪市住吉区万代東3丁目1-56

TEL：06-6692-1201（代表） FAX：06-6606-7032（外科外来）

研究責任者：友國 晃 研究分担者：古川 健太

研究責任者：大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座消化器外科学 江口英利